

2024-2025

Rotary 

第2760地区 豊橋ゴールデンロータリークラブ

WEEKLY

例会場 ロワジールホテル豊橋 TEL.0532-48-3131
 事務局 豊橋市藤沢町141
 ロワジールホテル豊橋本館9階 926号室
 TEL.0532-35-9973 FAX.0532-39-3743
 http://www.toyohashi-golden-rc.jp
 email golden@toyohashi-golden-rc.jp

ステファニー A. アーチック会長
 RIテーマ

吉川公章ガバナー
 地区方針

本多英司会長
 クラブ方針

THE MAGIC OF ROTARY

魅力あるクラブ 持続可能な奉仕活動
 成長するロータリー

選ばれるブランドを育てよう

第15回(通算1673回)例会報告	令和6年10月18日(金)	フォーラム「社会奉仕」
出席報告	総会員数56名(計算会員数51名) 欠席11名 出席率78.43% 前々回修正出席率92.31%	
歌/会場	我等の生業	会場: ロワジールホテル豊橋 30F「ル・モン」12:30~

会長の時間

本多英司会長



みなさんこんにちは。めっきり秋らしくなってきました、と言いたいところですが、まだまだ暑い日があります。気温の寒暖差が激しい時期ですので、体調管理には十分ご注意ください。

今年の夏は、「観測史上初の」とか「何十年ぶりの」などという言葉が頻繁に出てくるほど暑い夏でした。

ふと、自分が子供のころはどうだったのかなと思いついてみると、夏でも耐えられないほど暑い、といった日はそれほど多くはなく、例えば小学校の頃は、真夏でもプールに入るのに肌寒くて震えていた日も結構あったなと思います。寒くて唇が紫色になっていた友達も結構いました。それほど、30℃を超えた日は、多くなかったように思います。

ある調査によると、100年前の東京の夏の平均気温が26℃を超えた日は1日もなかったそうです。(平均気温というのは気温の平均値ですね)それが近年は、平均気温26度超えは、夏の時期、ほぼ毎日だそうです。名古屋に関しては、今年の8月の平均気温は30℃越えだそうです。

最高気温に目を向けると、昨年(2023年)は最高気温が30度を超える日(俗にいう真夏日もしくは猛暑日)は、なんと90日もあったそうです。

ちなみに最高気温25℃超えで「夏日」(昔は25℃で夏日ですよ!)、30℃超えで「真夏日」、35℃超えで「猛暑日」といいます。「猛暑日」という言葉は元々なく、2007年に温暖化の影響で新しく作られた言葉だそうです。

ちょっと話がそれましたが、つまり、昨年は、1年365日の内、およそ4分の1が、最高気温30度以上の「真夏日」か「猛暑日」だった、ということです。今年の夏はさらに暑かったので、1年の3分の1くらいが30度を超えることになるかもしれません。

私の子供のころはエアコンがなくても生活できていました。今ではエアコンなしでは生活できません。エアコン無しは、命に係わるくらいの状況です。地球温暖化の進行は、想像よりもかなり早く、肌で感じるどころか、その待たなしのスピードに、恐怖さえ感じるほどです。

そのような状況下で、私たちは、個人として、企業として、団体として、どのような取り組みができるのか。これは、すぐに行動しなければいけない、そして継続しなければいけない、重要な課題であるということは、みなさんも感じていることだと思います。

私たち豊橋ゴールデンロータリークラブの、現在の環境への取り組みはどうでしょう。

私たちのクラブは、先週、保永社会奉仕委員長が卓話でご説明した通り、3年前から社会奉仕活動として、豊橋動植物公園にて、絶滅危惧種動物の保護につながる事業を通じて、多くの方たちに、地球環境について目を向けてもらおう、という活動をしています。

幸い私たちの豊橋市には、年間100万人を超える来場者を誇る動物園がありました。そこでの環境活動は、特に子供達、を含めた多くの方々に、効率よくお伝えするにはとても良い場所です。「健全な食生活を実践できる力を育む・食育」という学びがあります。同じように、「人間と環境との関わりについて正しく認識し、責任ある行動がとれるよう学ぶ・環境教育」は、子供達にとって、もちろん大人にとっても、とても大切なことだと思います。

今日のフォーラムでは、これらの活動について、私たち「らしさ」を活かし、今後どのように展開していくか、どのようにブラッシュアップしていくかという事を考える、良い機会となります。

限りある時間の中ではありますが、皆さんの忌憚のないご意見を頂きますようお願いし、本日の会長の時間とさせていただきます。ご清聴ありがとうございます。

誕生日祝い

お誕生日おめでとうございます！



牧 岳大会員 石原聖季会員 西郷隆治会員 杉田和俊会員

フォーラム「社会奉仕」
—ブランドとなる社会奉仕活動へ—



高井龍雄ラーニング委員長

こんにちは。ラーニング委員会の高井です。
本日は社会奉仕委員会担当のフォーラムです。

社会奉仕は「超私の奉仕」ロータリアンが利己と利他の心を上手く調和して実践する機会です。

フォーラムでは会員同士のロータリー観を交換し合っていたいただき奉仕活動を考える、きっかけづくりとなる事を期待したいと思います。

先週の連休に娘を連れて、のんほいパークへ行って来ました。絶滅危惧種の表示、改めて良いなって誇らしく思いました。

オラウータンの所にもう1つ表示を見つけました。「リサイクリング産業」のプレートでした。

こちらの表示は、何と聞いたところ年間10万円の寄付が動物のエサ代になるそうです。

正しく、これこそ動物園プロジェクトの個人奉仕だと思いました。私も好きな動物のスポンサーになろうと決めました。

奉仕の実践について、原則としてロータリアン個人が行なうもの。

奉仕することで、その心を、それぞれの家庭、職場、地域社会や国際社会へ移すことだと考えます。

社会奉仕の実践活動に大切な⑤つ。

- ①多様化する地域社会のニーズであるプロジェクトか。
- ②クラブ会員が汗をかいて協力するプロジェクトか。
- ③毎年、異なる新しいプロジェクトか。
- ④年度内に完結するプロジェクトか。
- ⑤教育的効果を狙って継続的に行われるプロジェクトと異なったプロジェクトか。

つまり、社会奉仕活動の必要性を会員の皆さまに自覚していただき、さらに地域社会の人々を取り込んで実践することだと思います。

本日のフォーラムテーマ「ブランドとなる社会奉仕活動へ」です。

皆さまの思う事、考え等、意見交換をお願い申し上げましてフォーラム開催の挨拶とさせていただきます。

本日は、宜しくお願い申し上げます。

フォーラムリーダー 保永真生社会奉仕委員長



本日は社会奉仕フォーラムです。
自由で活発なご意見を頂ければ幸いです。
短い時間ですがどうぞ宜しくお願いします。



1 番テーブル

白井正樹会員



■①豊橋総合動植物公園にて補助金事業が今年で3年目となります。これを我がクラブの継続事業として今後も続けていくことについてどう思いますか。

- ・継続事業はなかなか難しい、それは毎年会長が変わる理事会も変わる、そういう中で継続決定を下すことは難しいものがある。
- ・絶滅危惧種にかかわらず動物園には色々なことがありますのでそういうものを見つけながら、つながりもできていますので動植物公園でやること自体は賛成です。しかしこれが継続事業としてあまり長く続けることには弊害も出てきますので、やるなら期間を決めてやる方がよい。
- ・動物園はただ見るだけの所ではなく、存在価値が変わってきている。絶滅危惧種を保護している人や、飼育員の、色々関わっている人達がいるから動物園の中

でいろいろなことができる。継続というより動物園を使っての事業がいくつでも考えられる。

- ・継続事業として絶滅危惧種だけ捉えて何年もやっているのでは社会奉仕委員会としては視野が狭くなってしまい、もっと多くの社会問題を議論してテーマを決めたい。
- ・この事業は補助金事業ですから年度が始まる前から準備しなくてはなりませんので、そのため担当委員長が独自に進めていかなくてはなりません。委員会で論議を重ねてやれるものではない。
- ・やはり補助金をもらう事業では前年の 11 月頃から準備が必要になる。しかし地区補助金をもらわなくても動物園を活用することで色々な社会奉仕活動ができる。年間 100 万人も来る日本有数の動物園であり、ここをロータリーとしてこれからも活用してゆくべきである。社会奉仕に限らず青少年奉仕、国際奉仕にも広げられる。
- ・これまでロータリーの社会奉仕の例会は卓話が多く行動がなかった。これからはブランドを高めるためにも外に出て行動することが重要です。ボランティアネットワークも無くなり外に向かったのアピールも行動することもなくなってしまった。これから大事なことは行動しなければブランドも高められませんが国際奉仕も外に出て行動します。ですから海外で活動したければゴールデンだろう、動物園で活動したければゴールデンだろうというクラブのブランドを高めたい。
- ・皆さんの意見をまとめますと、動植物園とのかかわりはこれからも大事にしていきたい。それは社会奉仕にかぎらず青少年も国際奉仕にも関連している。植物公園もあるから何でもできるし、このことは動植物園側としても大変喜んでくれています。継続事業ということには抵抗がありますが、そんな必要もないし補助金事業にこだわる必要もないということです。

■②社会奉仕事業として取り組む活動は

- ・社会奉仕の中に環境保全があります。市役所が主導で学生を巻き込んで河川の生態系調査をしているという情報を聞きました。そうした学校の生物部にクラブとして関わることはどうでしょうかという提案です。
- ・この地域には水族館がありませんので、バーチャル(映像)なものの水族館が作れないだろうか。
- ・自転車の運転が怖いので一般市民の意識を高めることが大事である。
- ・災害時のゴミ処理問題に焦点を当ててもらい、実際の訓練を体感することも必要です。
- ・今キーワードは環境です。個人ではできないが団体からできることをやっていくことが大事です。

2 番テーブル

保永真生会員



(1) のテーマについて

- ・動物園はテーマとしてとても良く継続的に事業を行う事で更に拡充できる。
- ・動物園事業に善意銀行や障害者支援など関わりを増やしていくと、News ソースにもなり話題性が広がっていくので、様々な可能性を加味できると更に良い。
- ・滅危惧種動物という目の付け所は良い。大事なのはやりっぱなしではなくどの様な将来ビジョンを構築できるかがポイントとなる。継続していくためには何が必要かをよく考えて、ゆくゆく相手側に迷惑になるような事は避けること。
- ・動物園における事業は様々な角度からみれば他にもっと手助けできることはたくさんある。それを見つけてながら効果的に事業を構築していく事は有意義な活動である。
- ・動物園の限られた予算では手の届かないところ、スタッフの方々が動物達を思いやる心や、もっとこうしてあげたら来園者の方々にも喜んでもらえるという思いはまさに利他の心そのものである。ゴールデン RC の活動でもうちょっとという思いを救ってあげられるような事業が望ましい。

(2) のテーマについて

- ・動物園で事業は 3 年続けてきたので続けた方がよい。その時代、時期に何かあればその時に考えればよい。
- ・時代の変化とともに、ニーズとともに変化しても良い。スポーツ支援などは部活動が出来なくなっている子供たちにとってありがたいものになる。
- ・昔は市から貢献のあった青少年に対する表彰があった。頑張っている人を表彰する様な活動があってもいいかと思う。
- ・子どもたちばかりに目が行きがちだが老人にも目を向けた活動があってもよい。

3 番テーブル

村松 光会員



- ・動物園での事業を継続し、当クラブのブランドにしていくべきである。
- ・動物園をロケーションとして様々な切り口で事業展開していくべきである。
- ・次世代である青少年への影響を与えられる事業にしていくべきである。
- ・社会奉仕活動以外にも動物園を利用した奉仕活動が可能である。
- ・3年間活動を行ったら RCC に展開する必要がある。
- ・すべての事業のプロセスが大事であり、クラブ内への情報共有は重要である。
- ・時代の流れであるが、I Serve から We Serve 化している。RC と Lions を分ける必要のない時代になったのではないか。
- ・補助金が原因で、委員長がひとりで走っている様に見える。無理して補助金を利用する必要はないのではないか。

4 番テーブル

太田和彦会員



- ①3年目となる豊橋総合動植物公園での事業について
- 継続することはいいと思う。いつまで続けるか、計画が必要。
地域、企業、大学などで、推進ネットワークを作り、計画を立てていくのもいいと思う。
 - 目標など、先が見えないと、続けられない。共通意識が必要。
動物絶滅危惧種だけでなく、植物などについても考えていけば豊橋動植物園との関わりも、もっと広がり、続けておこなっていけないのではないかと思う

○動物絶滅危惧種の PR だけではなく、社会奉仕として自然破壊から守ることも必要ではないかと思う。
(清掃、ごみの分別、ごみ、汚水の捨て方など、個々で、よりよい環境を目標として、できることから、行動していく。)

②豊橋動植物園での事業以外で、我がクラブの社会奉仕事業として取り組んでみてはどうかと思われる活動について

○絶滅危惧種は動物だけではないと思う。川の中の生物、ザリガニ、メダカ、トンボ、すずめなどの対応性も必要ではないかと思う。

○豊川市佐奈川桜並木の桜が、寿命で倒木し、人命に危険を及ぼしている。

豊橋市にも美しい桜が見える場所はたくさんあります。その中のソメイヨシノも 70 年～80 年という寿命にきている。桜の木を残し、保存していく方法を考えていくこともいいと思う。

【豊川の堤防に桜の木を植えよう】

○川の大切さ、地元の川の魅力を知って頂く機会をつくる。

【牛川の渡し】の体験をし、歴史などを学ぶ。

○地元の川でイベントをおこなうことによって社会奉仕の目的に近づくのではないかと思う。

○地球の環境問題について考える。

海、河川、そして水について、学び、奉仕事業に繋げていくこともいいと思う。

○子供たちの不登校、給食費問題についても社会問題につながると思う。

子供たちの居場所をつくり、安心して学べる場をつくる。

会話、食事、スポーツ、遊びなどを通じて、子供たちが笑顔になれるように考え、社会奉仕事業につなげていくこともいいと思う。

○社会奉仕とは、テーマが大きく、むずかしいテーマである。

○自身、車を慎重に運転することも、社会奉仕だと思う。

5 番テーブル

加藤ゆり子会員



フォーラムテーマ「ブランドとなる社会奉仕活動へ」について話し合いました。

- ① 今年で3年目になる豊橋総合動植物公園にて地区補助金を利用した、社会奉仕活動をどう思いますか？の事に関しては、みなさん今まで行ってきたことは、とても良い事だと思っていて、良い事は今後も続けた方が良いとの意見でした。また今後どんな形であれ継続して続ける事業としてもいいのではないかとの意見でした。

一昨年の絶滅危惧種の動物をまず知ってもらう為の看板設置やHP作成、昨年の出前事業用の絶滅危惧種のレプリカ教材寄付など豊橋のブランドになっている動植物公園とゴールデンロータリークラブの関係も良い関係になっているのでは・・・インパクトのあるロータリーらしさを発信できる事業である。

地区補助金への認知や理解と、子供たちに動物愛護、動物とどんな形で大切にしていけるかを教える良い事業。

ゴールデンロータリー＝絶滅危惧種事業

今後マスコミを利用して認知させた方が良い。

青少年奉仕にも絡めても良い。

2年間寄贈したものが、現在も活用されていることは、良い活動である証拠である。

との意見がありました。

- ② 豊橋総合動植物公園での事業以外で、我がクラブの社会奉仕事業として取り組んでみてはどうかと思われる活動は？については、他のロータリークラブでも行っていますが、思い当たるのはスポーツ支援との事です。サッカーやバスケットなどなど。青少年か社会人かは別として…。との意見がありました。

6番テーブル

石原聖季会員



- ① のんほいパークで行う社会奉仕事業について

鈴木紳：今後も続けていく価値はある。ハノイにも動物園があるが、動物の扱いや環境が酷い。のんほ

いパークは価値のある資源なので、今後も続けていくと良いと思う。ただ、社会奉仕の委員長にやりたいことがある場合、それを制限することになってしまうのは問題。

宮川父：今後も良いものは続けていけば良いと思います。ただ、次年度の委員長にはしっかりと引継ぎを行っていくことが大事だと思います。

杉浦：今後も続けていくと良いと思います。続けないとブランドになりません。のんほいパークは豊橋市のシティープロモーションの4つの柱の1つです。そこと協力していくことは良いことだと思います。前は高校VHNWをRCCとして取り組んでいたが、その目玉にもなりうる取り組みだと思います。

石原：昨年の社会奉仕委員会は前年度からルールが敷かれていました。地区補助金の事業は申請のタイミング等を考えると委員長がほぼ独断で内容を決めざるを得ません。本年度の保永委員長も大変な思いをされていることと思います。のんほいパークでの地区補助金事業は社会奉仕に限らず青少年奉仕にもつながるものだと思います。連携して事業を行い外部に発信していくことがブランド力につながると思います。

鈴木紳：4大奉仕はつながっています。昨年の国際奉仕事業も青少年の要素がありました。

杉浦：以前、5クラブ合同でのんほいパークにキリンの木の植樹を行った。のんほいパークで事業を行えば、環境教育につながります。

- ② 社会奉仕事業として取り組むべきこと

杉浦：バスケットボールが良いのではないかと。各小学校でもやれる環境がある。

鈴木紳：昔の子供たちは野球をやっていたが、今はバスケットをしている。スポーツは良いと思う。

山口：以前、街路樹の植樹を行った。あのようなことでも良いと思う。

鈴木紳：松は見栄えが良いですが、マツクイムシの被害が多い。

石原：葦毛湿原からつながる弓張山地の山道は現状しっかりと整備されているが、愛知県から静岡県側に入ると急に整備が疎かになっている。近隣の山の自然を守る取り組みやその仕組みを次の世代に渡していく取り組みは行っていくと良いと思う。

7番テーブル

鈴木 愛会員



8番テーブル

酒井正樹会員



①

- ・人口減少問題や街づくりなど、やらなければならないことは他にもたくさんある。
- ・今までと違う切り口で他にやる事があるなら続けても良い。
- ・動植物園の中で出来る新しい内容がないか探すようでは、今後の社会奉仕委員長が大変だ。
- ・社会奉仕委員長の思い入れが無くても、しなければならなくなる。「これがやりたい！」と委員長の熱意がある内容に取り組む方が良い。
- ・伝統ではなく新しいことをその都度委員長が考えるべき。公金を使うという意味において、その姿勢が大事だ。
- ・続けた方が良い。動植物公園の皆さんが喜んでいること、子どもたちの喜ぶ姿を目の当たりできる事業は、ロータリアンのモチベーションにつながる。

②

- ・災害ボランティア
- ・ロータリークラブは単年度制であるが、今年度の地区委員会より「3年継続事業を考えるように」という話がある。絶滅危惧種といえば豊橋ゴールドンロータリーという認識が根付けば、それがブランドになる。
- ・ロータリークラブ発の事業は良いが、継続するのはロータリアン個人であるのが理想。自らの仕事以外で「これは！」と思入れがあるものに巡り合うと、人間としての幅がグッと広がる。

テーブルリーダー酒井正樹

大須賀憲太、小笠原英彦、浅井大介、三浦時子

(1)

事業は継続3年間ぐらいが分岐点なのは高校生ボランティアネットワークなど長年続けると辞める時が大変
相手のあることで毎年当たり前にやってもらえるものと思われている
今年は特に、対外的に当クラブをアピールする必要がある
その年の委員長がやりたいことをやるべき、決められたことをやるのは違う
絶滅危惧種だけでなく、のんほいパーク全体支援(お金のかからない活動)
社会奉仕活動は時限が必要である
スタート時にゴールを決めるべき(何をどこまでやる、目的を達成したら終了)

(2)

豊橋市役所に声を掛けて、困っていることや手が付かずにいることを共同事業です
社会貢献、地域貢献につながる
組織(ロータリークラブ)で行うこと、個人で行うことを見極める

★ニコボックス

本多英司・鬼頭秀幸: 社会奉仕フォーラムです。皆さん活発な意見を出して下さい!

西郷隆治・杉田和俊・

牧 岳大・石原聖季: 誕生日をお祝い頂き。

松島弘和: 出席報告をさせて頂き。

高井龍雄: フォーラム開催の挨拶をさせて頂き。

保永真生: 社会奉仕フォーラムです。自由な意見交換をして頂き楽しんで下さい。テーブルリーダーの皆様よろしくお願ひ。

福沢省吾・白井正樹・

梅田英樹・加藤ゆり子・

石原聖季・酒井正樹: テーブルリーダーをさせて頂き。

高橋哲也: 特別講演会に一人でも多くの会員候補者を動員して頂きますようお願い!

高井龍雄: ファイアサイドミーティング 3日間盛り上がり過ぎて終わることができ、ありがとうございました。

井上 穂・太田和彦: 高井委員長、保永委員長、テーブルリーダーの皆様、よろしくお願ひ。

山口幹夫: 健康で例会に参加できありがたいです。参加に会員の支援に感謝です。

鵜殿健次: 10/18 は私の大好きな郷ひろみの誕生日です。ジャパン!!!

尾崎雅輝: ファイアサイドミーティング 欠席してしまい申し訳ありません。

村松 光: 10/14 兄が 53 歳の若さで永眠しました。「難病と闘う兄の横顔に、命の尊さを知る」兄の分まで精一杯人生を謳歌します。

岡本久永: ニコボックスの発表をさせて頂き。

岡本久永ニコボックス委員

★他クラブの例会変更

■10月28日(月) 豊橋南RC クラブフォーラム

■10月29日(火) 宝 飯RC 財団補助金事業例会

■10月30日(水) 豊 川RC 財賀寺開創1300年御開帳参拝例会

■10月30日(水) 豊橋東RC 桜丘孫便り IAC活動報告

■10月31日(木) 田 原RC 例会場変更(サイン無)